

令和3年度佐久市の取り組みへの
満足度・重要度及び
住みやすさ感・健康感・幸福感
に関する市民アンケート

報 告 書

(令和3年8月2日～9月3日調査)

I	調査概要	1
II	結果の概要	6
III	質問ごとの内容	24
IV	調査票	103



佐久市

I 調査の概要

(1) 調査目的

社会経済情勢や市民ニーズの変化に対応した行政評価を行い、今後の施策の方向性の判断や事業の選択と集中を進めるために、市民が今までの市の取組に満足しているのか、また実施してきた事業等を今後も必要としているのかといった意見や意向を、前回調査からの経年変化を踏まえて把握することを目的とするものである。

また、将来都市像として「快適健康都市 佐久」を掲げていることから、市民の「住みやすさ感」、「健康感」、「幸福感」に関する意識等を把握することも目的とする。

(2) 調査対象

佐久市内に住所を有する16歳以上の男女1,000人

住民基本台帳から無作為抽出し、郵送によりアンケート調査票を発送、回収

(3) 調査実施方法及び調査期間

令和3年8月2日～9月3日

郵送による調査依頼とし、返信用封筒における郵送回答方式である。

(4) 有効回答数

534名(回答率53.4%)

(5) 調査内容

○ 佐久市の主要な施策に対する満足度・重要度について

・教育・文化について

幼児教育、学校教育、高校教育・高等教育、青少年健全育成、文化・芸術

生涯教育、スポーツ、人権尊重社会、男女共同参画社会

・土地利用・都市基盤について

土地利用、市街地、公共施設、住宅、高速交通ネットワーク、地域交通ネットワーク

・経済・産業について

農業、林業、水産業、商業・サービス業、観光、工業、就労・雇用

・保健・医療・福祉について

健康増進、保健活動、医療、医療保健・国民年金、地域福祉、介護・高齢者福祉、障がい者福祉

ひとり親家庭支援・低所得者福祉、少子化対策、母子保健、子育て支援・児童福祉

・環境について

環境保全、街並み緑化・公園・景観形成、地球温暖化対策、環境衛生、上水道、下水道

・防災・安全について

防災、消防・救急、交通安全、防犯、消費生活

・市民生活・協働・交流について

市民協働・参加、地域コミュニティ、行財政経営、高速情報通信ネットワーク
地域間交流・国際交流、広域連携

○ 佐久市の住みやすさ感について

○ あなたの健康感について

- ・健康をイメージするとき、重要だと思うこと
- ・あなたは健康だと思いますか
- ・あなたは健康に気を付けていますか

○ あなたの健康状態や意識について

○ あなたの幸福感について

- ・幸福感を判断するとき、重要だと思うこと
- ・あなたは幸せだと思いますか

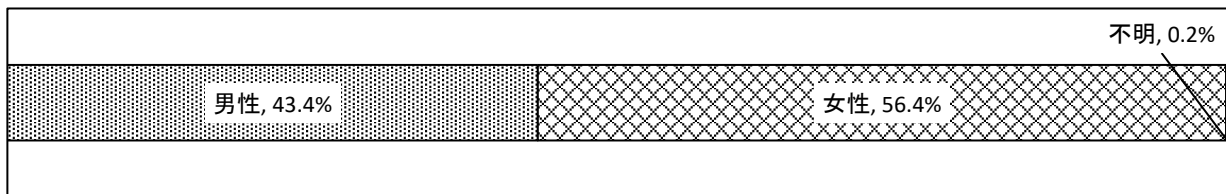
○ 佐久市の将来についてのご意見、ご提案、ご要望等(自由回答)

なお、調査データは各項目で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(6) 回答者の概要

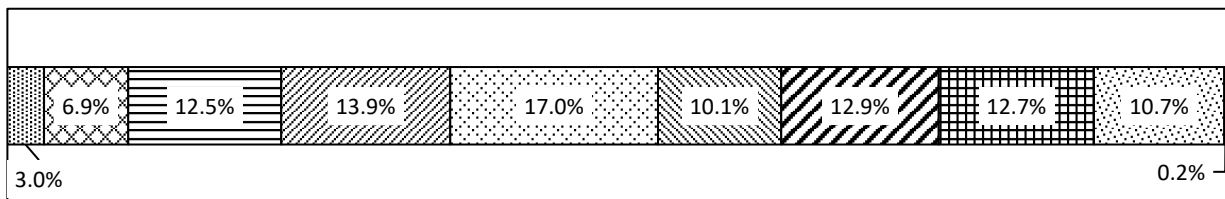
性別

	回答数	割合
男性	232	43.4%
女性	301	56.4%
不明	1	0.2%
合計	534	100%



年代

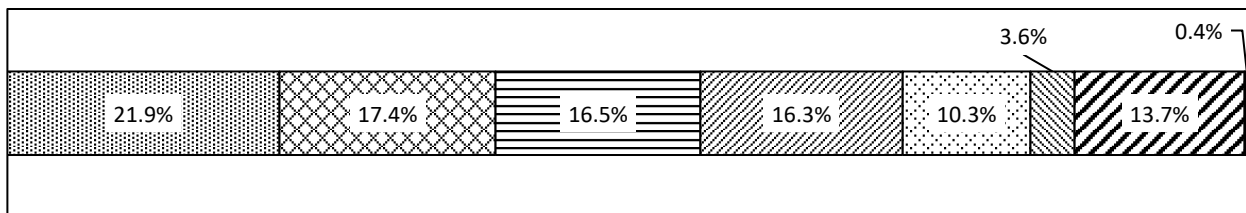
	回答数	割合
10代	16	3.0%
20代	37	6.9%
30代	67	12.5%
40代	74	13.9%
50代	91	17.0%
60～64歳	54	10.1%
65～69歳	69	12.9%
70～74歳	68	12.7%
75歳以上	57	10.7%
不明	1	0.2%
合計	534	100%



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60～64歳 ■ 65～69歳 ■ 70～74歳 ■ 75歳以上 ■ 不明

職業

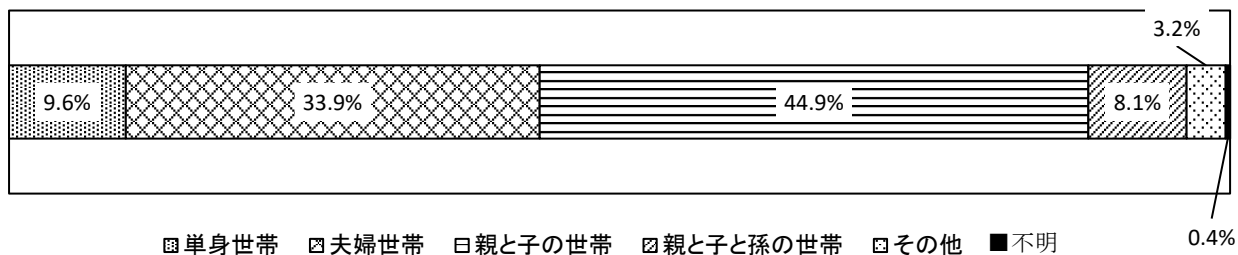
	回答数	割合
常勤(市内勤務)	117	21.9%
主婦・主夫	93	17.4%
非常勤(パート・アルバイト)	88	16.5%
常勤(市外勤務)	87	16.3%
自営業(農業含む)	55	10.3%
学生	19	3.6%
その他(無職含む)	73	13.7%
不明	2	0.4%
合計	534	100%



■ 常勤(市内勤務) ■ 主婦・主夫 ■ 非常勤(パート・アルバイト)
 ■ 常勤(市外勤務) ■ 自営業(農業含む) ■ 学生
 ■ その他(無職含む) ■ 不明

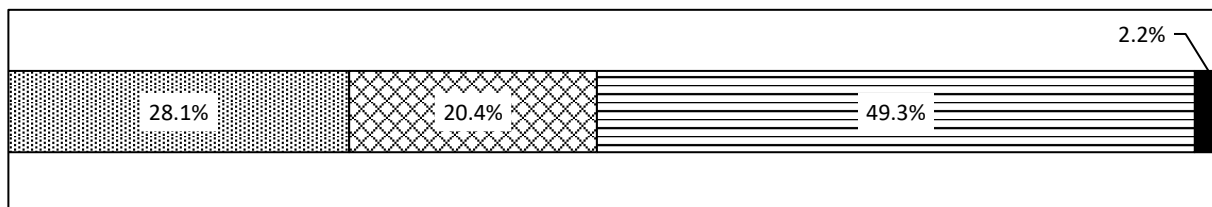
世帯構成(その1)

	回答数	割合
単身世帯	51	9.6%
夫婦世帯	181	33.9%
親と子の世帯	240	44.9%
親と子と孫の世帯	43	8.1%
その他	17	3.2%
不明	2	0.4%
合計	534	100%



世帯構成(その2)

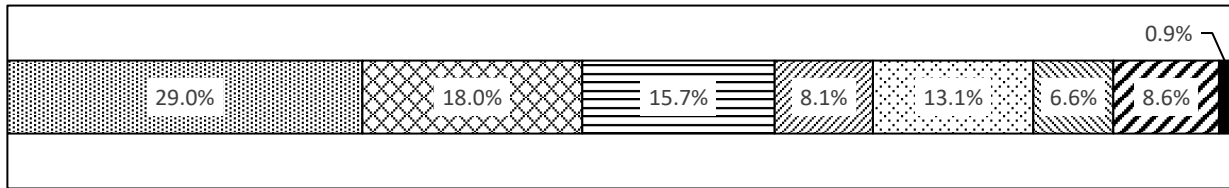
	回答数	割合
世帯を構成する者の中に18歳未満の者がいる	150	28.1%
世帯を構成する者が全て65歳以上である	109	20.4%
上記に該当しない世帯構成である	263	49.3%
不明	12	2.2%
合計	534	100%



- 世帯を構成する者の中に18歳未満の者がいる
 世帯を構成する者が全て65歳以上である
 上記に該当しない世帯構成である
 不明

お住まいの地域

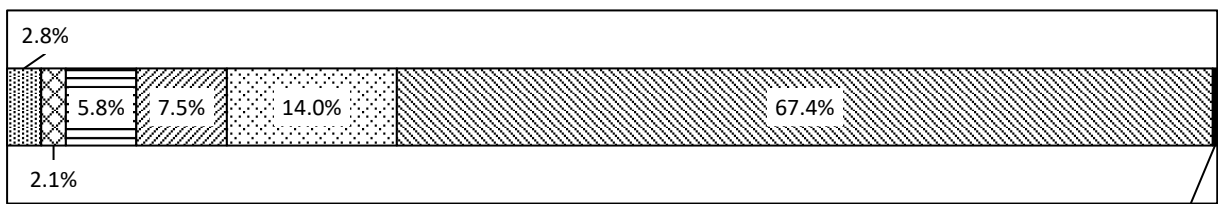
	回答数	割合
浅間地区	155	29.0%
野沢地区	96	18.0%
中込地区	84	15.7%
東地区	43	8.1%
臼田地区	70	13.1%
浅科地区	35	6.6%
望月地区	46	8.6%
不明	5	0.9%
合計	534	100%



浅間地区
 野沢地区
 中込地区
 東地区
 臼田地区
 浅科地区
 望月地区
 不明

佐久市の在住年数(合併前の居住地を含む)

	回答数	割合
1年未満	15	2.8%
1年～2年	11	2.1%
3～5年	31	5.8%
6～10年	40	7.5%
11年～20年	75	14.0%
それ以上	360	67.4%
不明	2	0.4%
合計	534	100%



1年未満
 1年～2年
 3～5年
 6～10年
 11年～20年
 それ以上
 不明

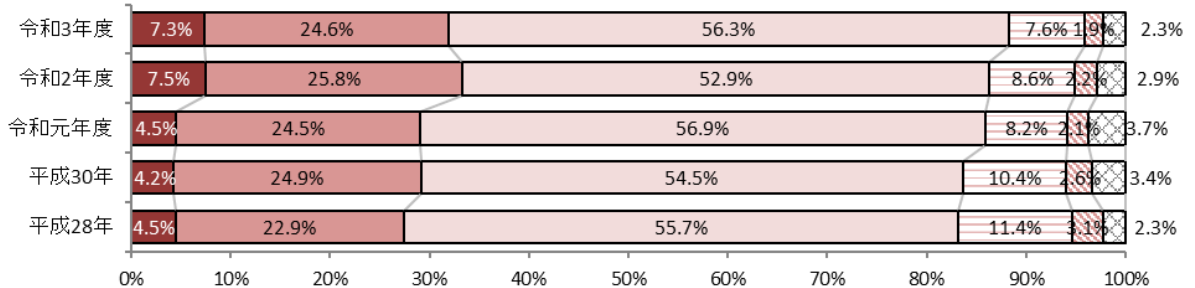
II 結果の概要

▽佐久市の主要施策への満足度・重要度

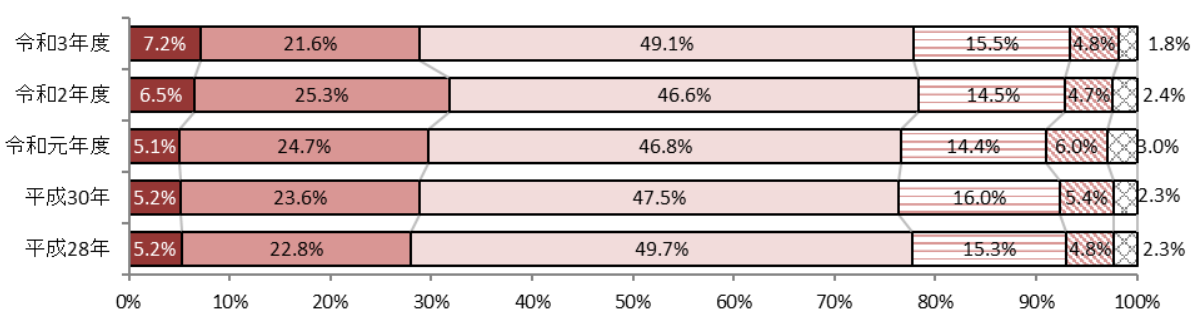
施策の分野別満足度

施策の満足度を7分野、50項目について分野ごとに集計した。「満足」と「やや満足」の合計が多いのは「防災・安全」の32.1%で、2番目に多かったのは「教育・文化」の31.9%。「不満」と「やや不満」の合計が多かったのは「土地利用・都市基盤」の20.3%。

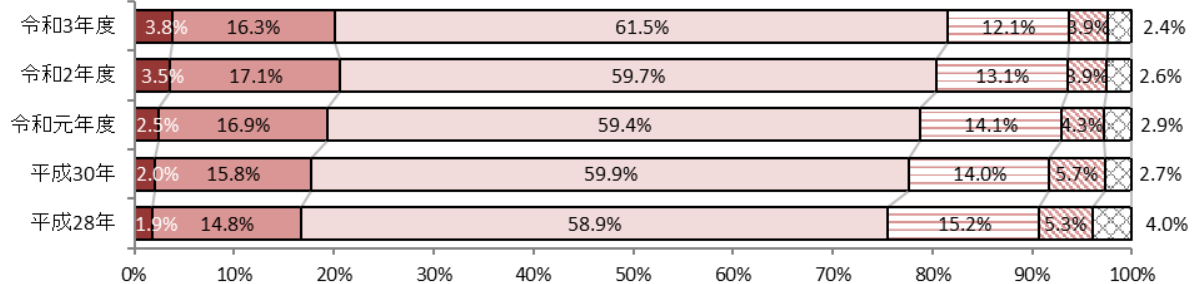
<教育・文化>



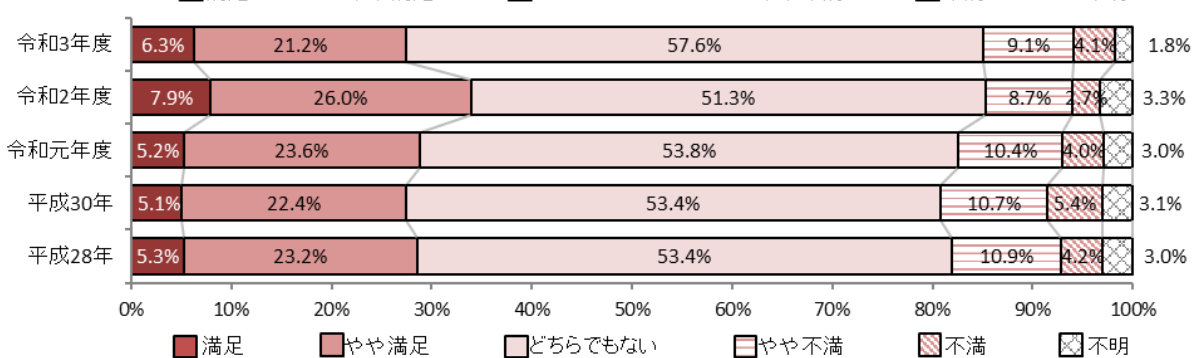
<土地利用・都市基盤>



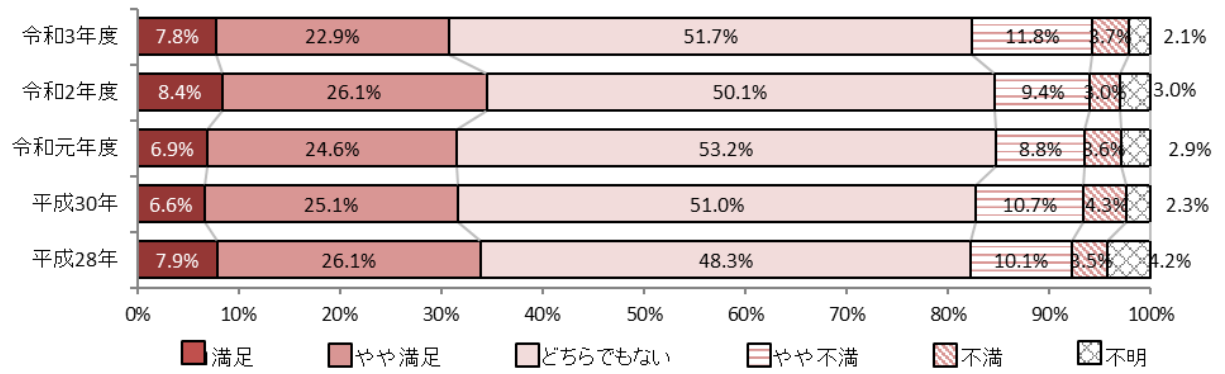
<経済・産業>



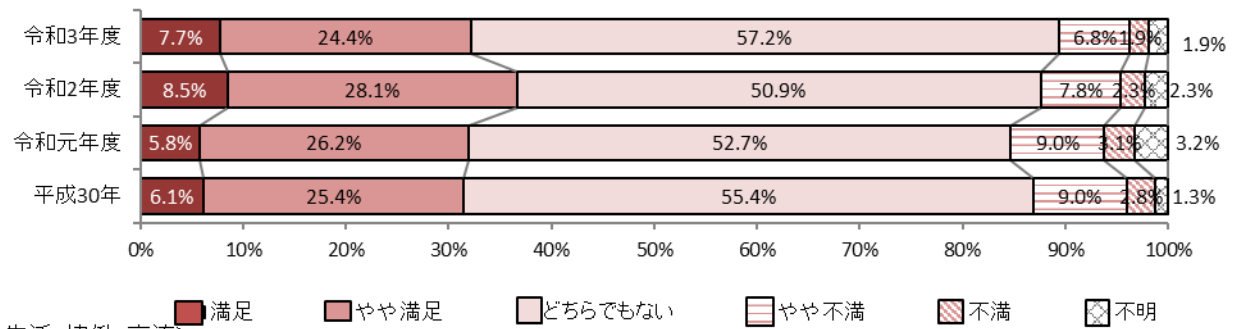
<保健・医療・福祉>



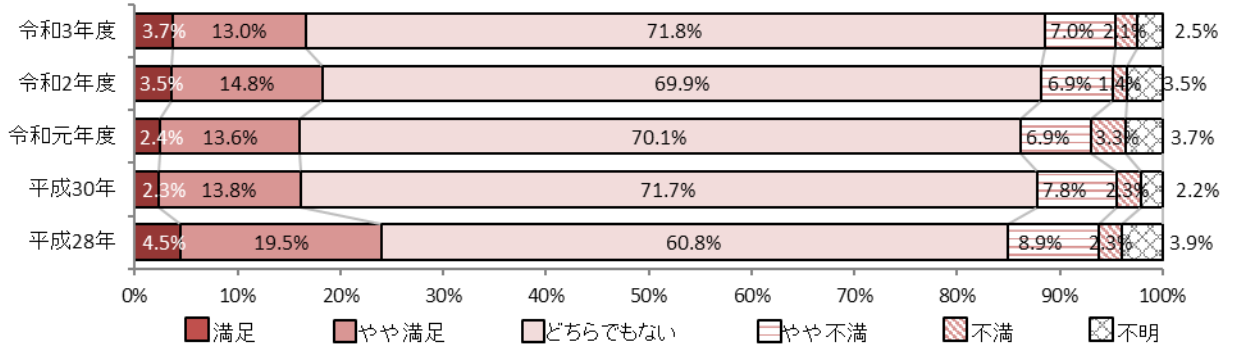
<環境>



<防災・安全>



<市民生活・協働・交流>

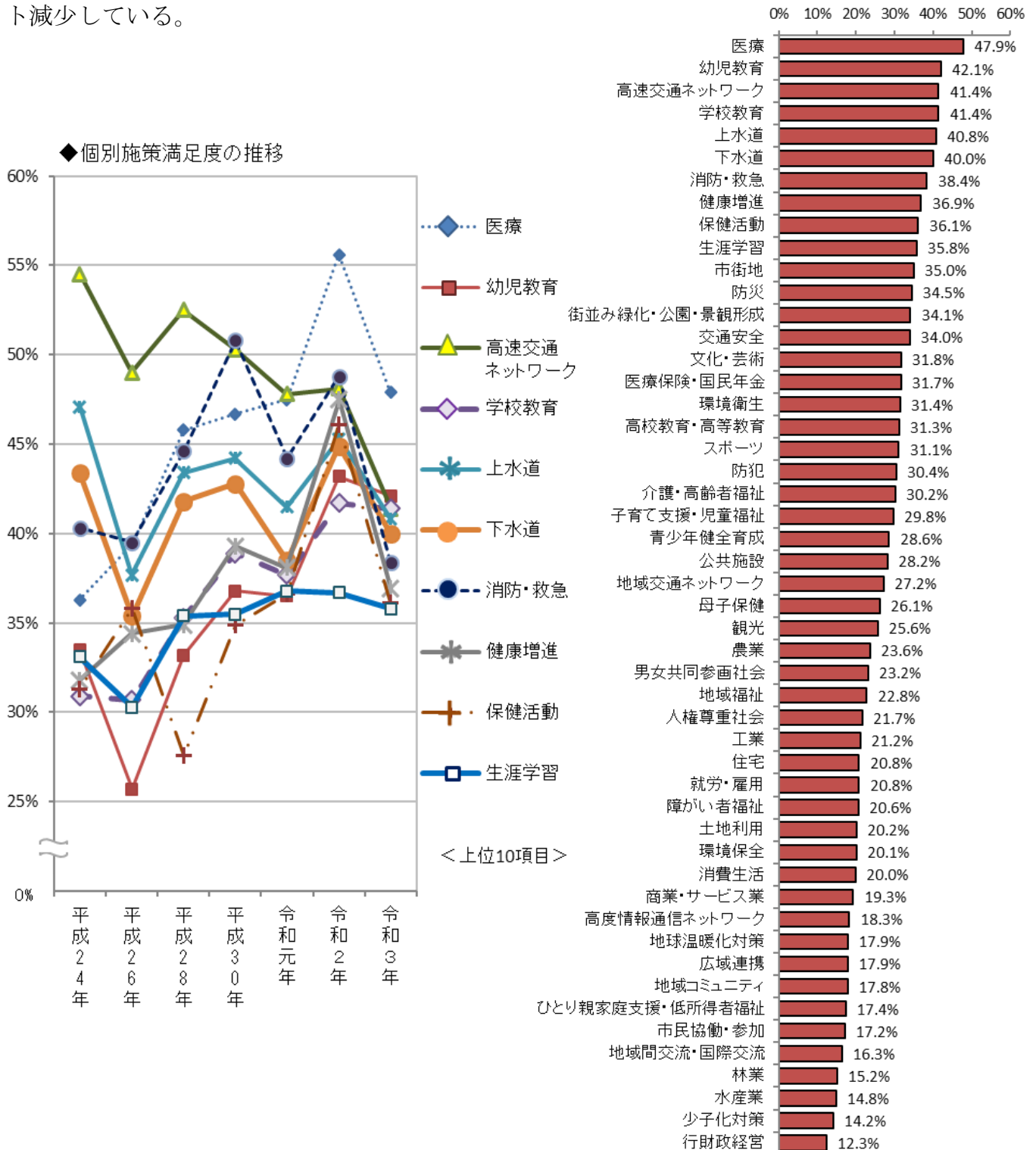


(注) グラフの割合は、各分野に含まれる全項目の平均。9ページの施策の分野別重要度も同様。

個別施策の満足度

各施策の満足度で最も高かったのは「医療」で、「満足」と「やや満足」を合わせて47.9%。2番目に高かったのは「幼児教育」の42.1%で、以下「高速交通ネットワーク」、「学校教育」、「上水道」と続く。

前回調査との比較では、「就労・雇用」が3.1ポイント増加、「環境衛生」が9.7ポイント減少している。



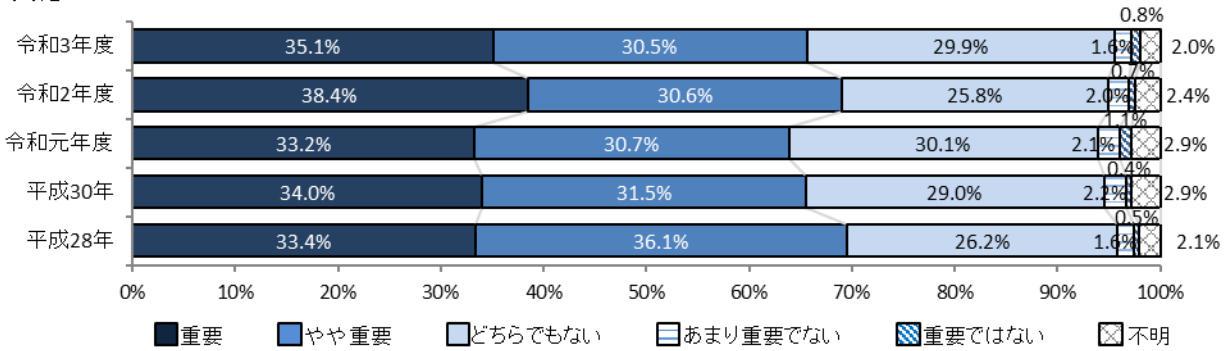
(注) グラフのパーセント数字は「満足」と「やや満足」の合計

施策の分野別重要度

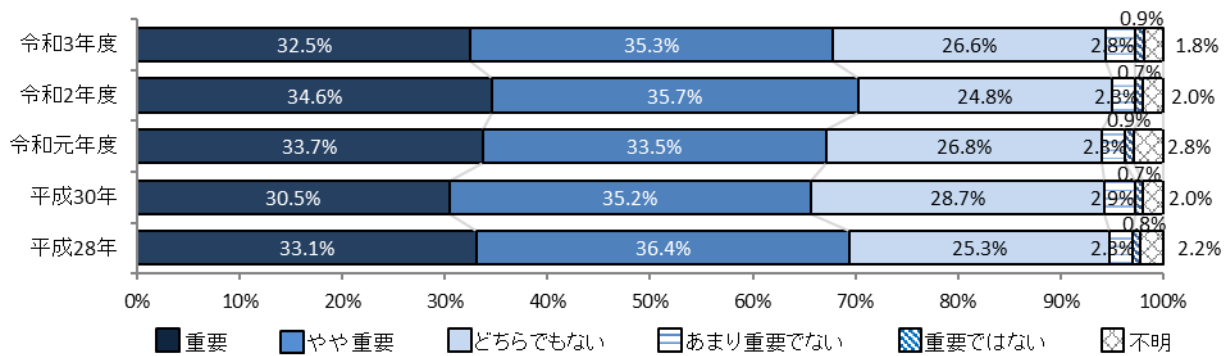
施策の重要度について分野別集計で「重要」と「やや重要」を合わせた割合が最も高かったのは「保健・医療・福祉」の75.3%で、「防災・安全」が75.1%で続く。

前回調査と比べると「環境」、「市民生活・協働・交流」において「重要」とする回答が増加している。

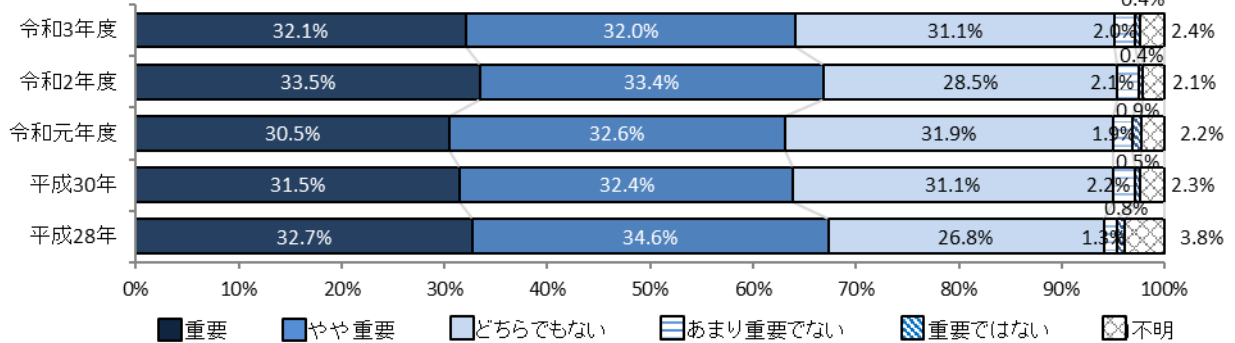
<教育・文化>



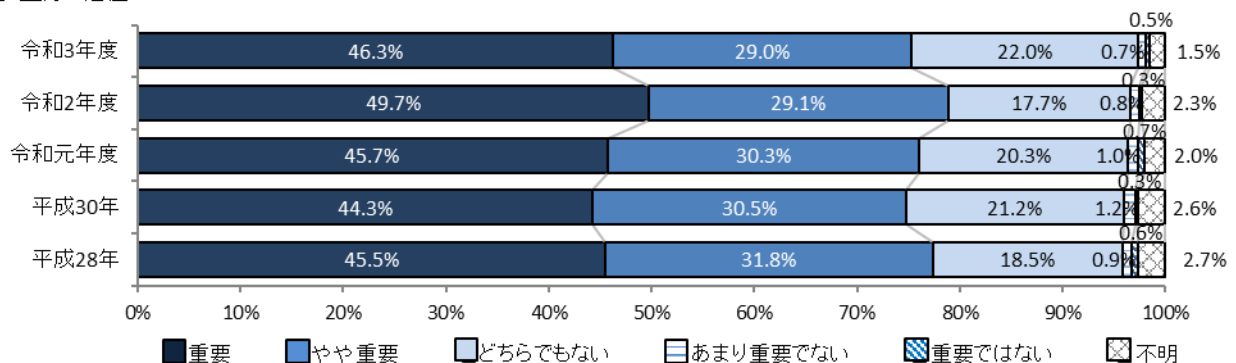
<土地利用・都市基盤>



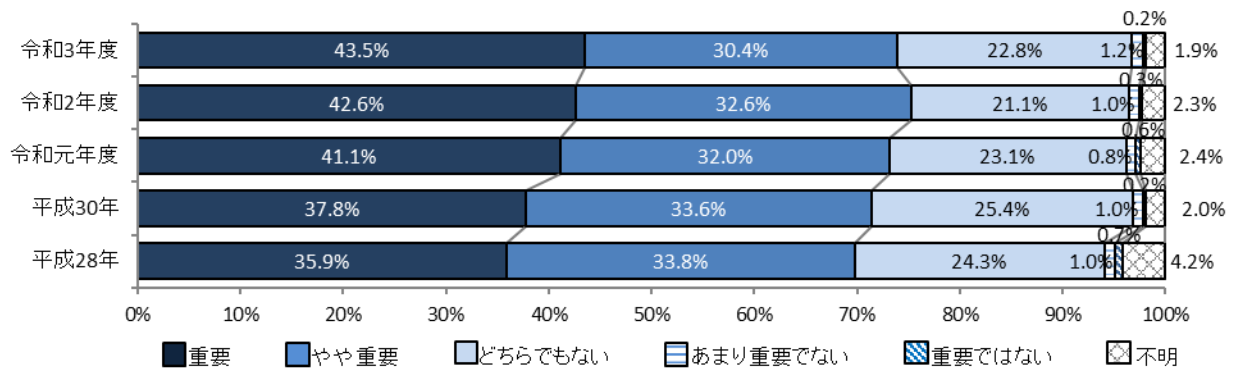
<経済・産業>



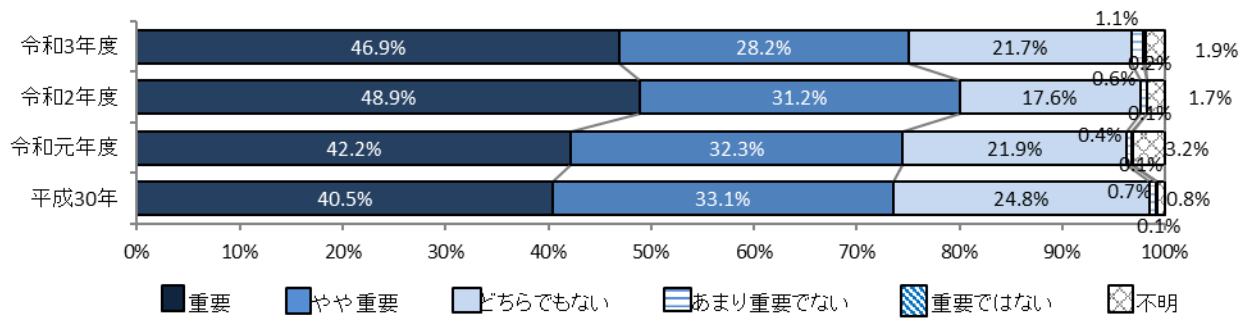
<保健・医療・福祉>



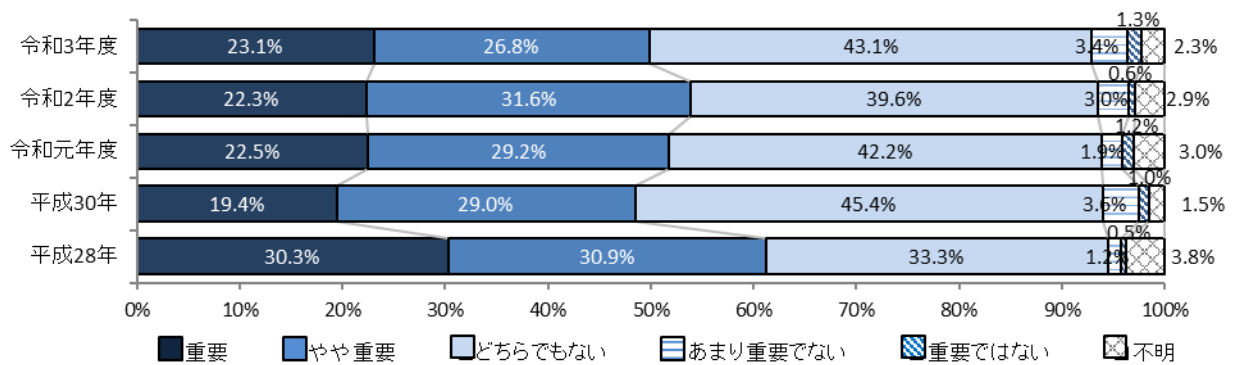
<環境>



<防災・安全>



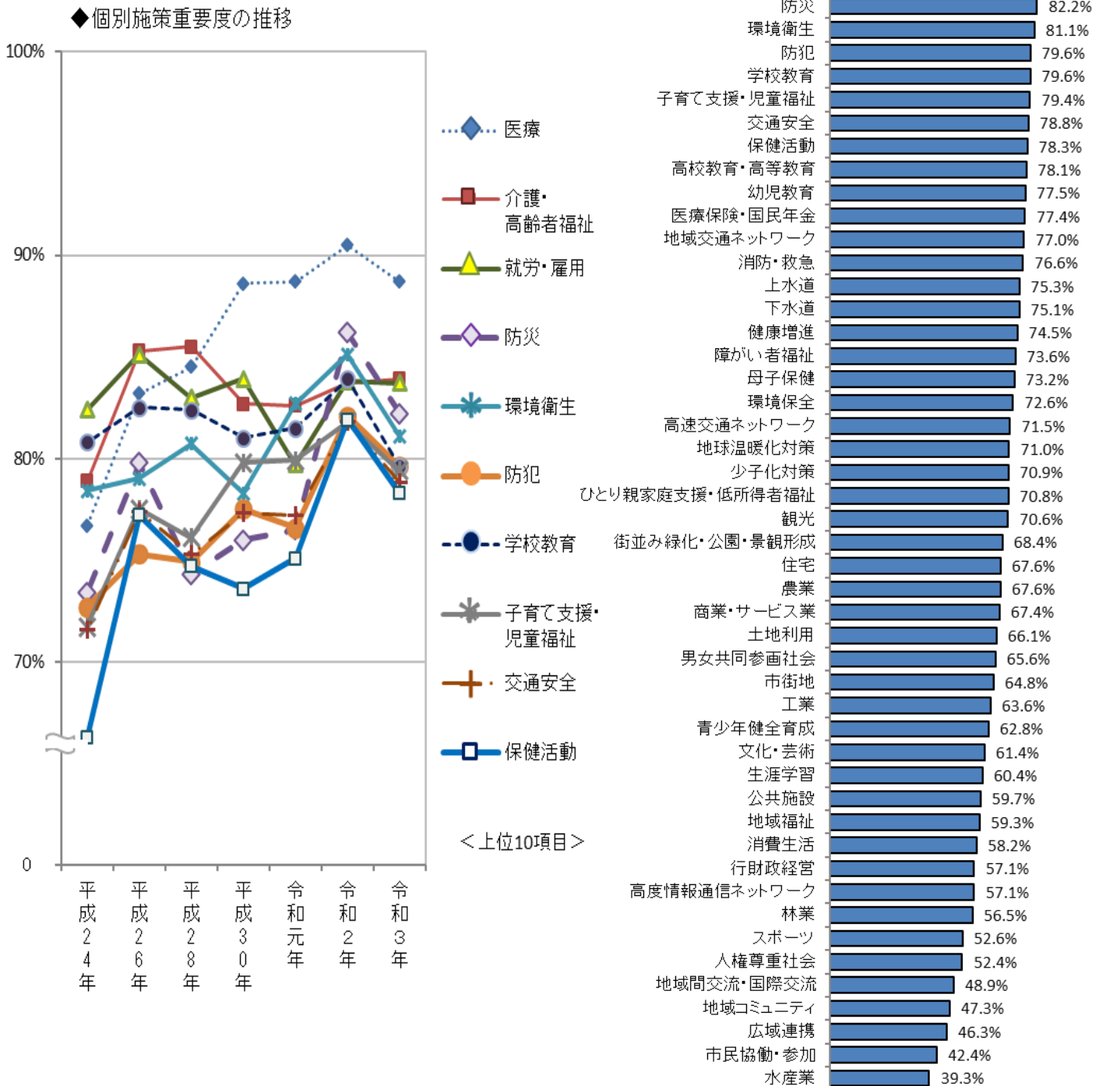
<市民生活・協働・交流>



個別施策の重要度

施策の重要度で「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「医療」の88.7%。2番目に高かったのは「介護・高齢者福祉」の83.9%で、3番目以降は「就労・雇用」、「防災」、「環境衛生」と続く。

前回調査との比較では、「環境衛生」が4.0ポイント、「医療保険・国民年金」が3.4ポイント減少している。前回調査で5番目に高かった「就労・雇用」が2つ順位を上げている。



(注) グラフのパーセント数字は「重要」と「やや重要」の合計

各施策の満足度・重要度の平均値比較

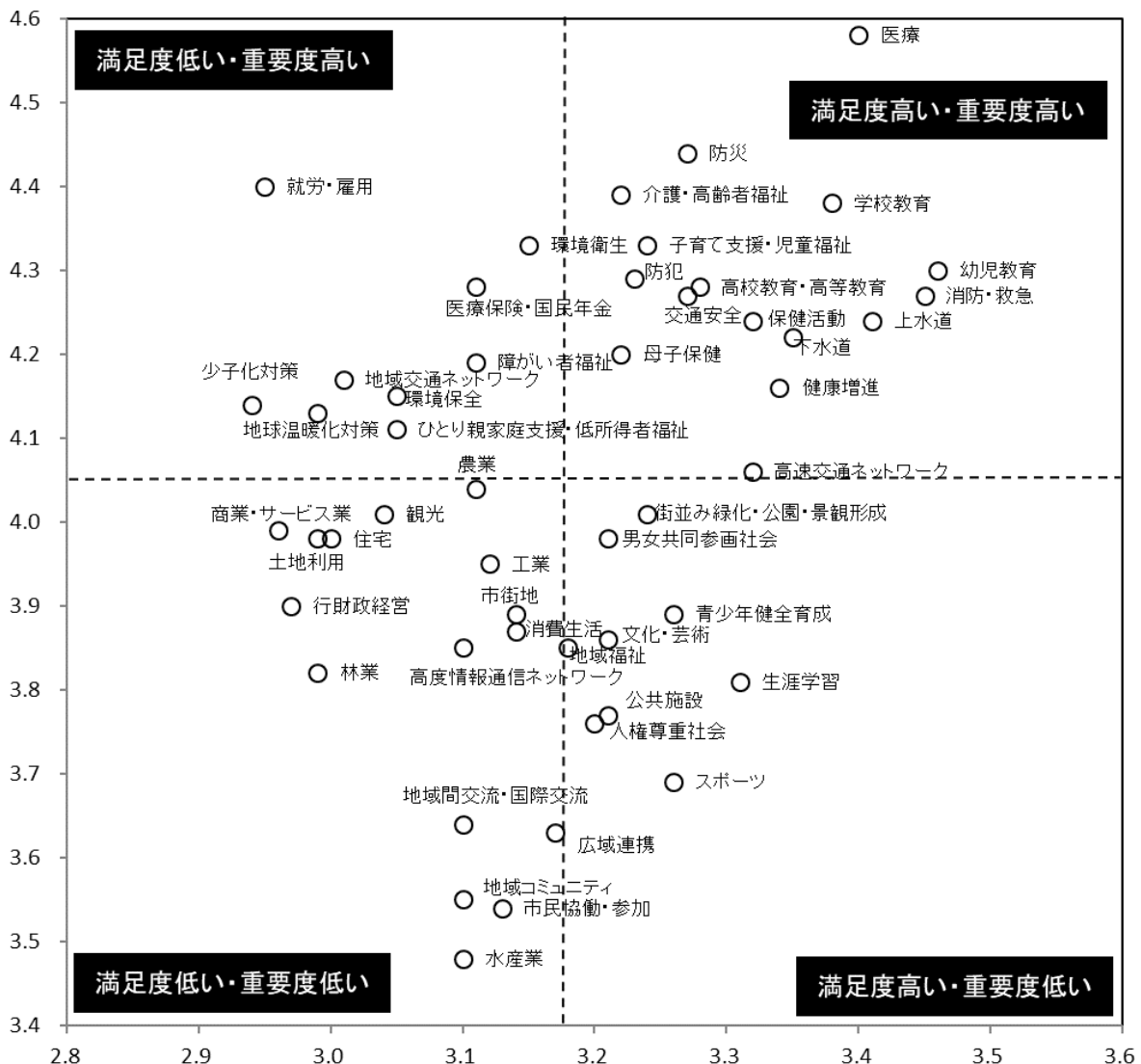
下の図は各施策の満足度・重要度を得点化し、全回答者の平均値をプロットしたもので、横軸は満足度、縦軸は重要度である。点線は全質問の平均値（満足度 3.18、重要度 4.05）を表している。

4分割されているグラフの向かって右上が満足度・重要度がともに高い項目で、左上は満足度が低く重要度が高い項目、右下は満足度は高いが重要度が低い項目、左下は満足度、重要度ともに低い項目である。

最も満足度が高いのは「幼児教育」の平均点 3.46 で、2番目は「消防・救急」(3.45)。3番目以降は「上水道」(3.41)、「医療」(3.40)、「学校教育」(3.38)と続く。満足度が低かったのは「少子化対策」(2.94)、「就労・雇用」(2.95)、「商業・サービス業」(2.96)、「行財政経営」(2.97)。

重要度では「医療」が 4.58 で最も高く、2番目以降は「防災」(4.44)、「就労・雇用」(4.40)、「介護・高齢者福祉」(4.39)。重要度が低かったのは「水産業」(3.48)、「市民協働・参加」(3.54)、「地域コミュニティ」(3.55)、「広域連携」(3.63)だった。

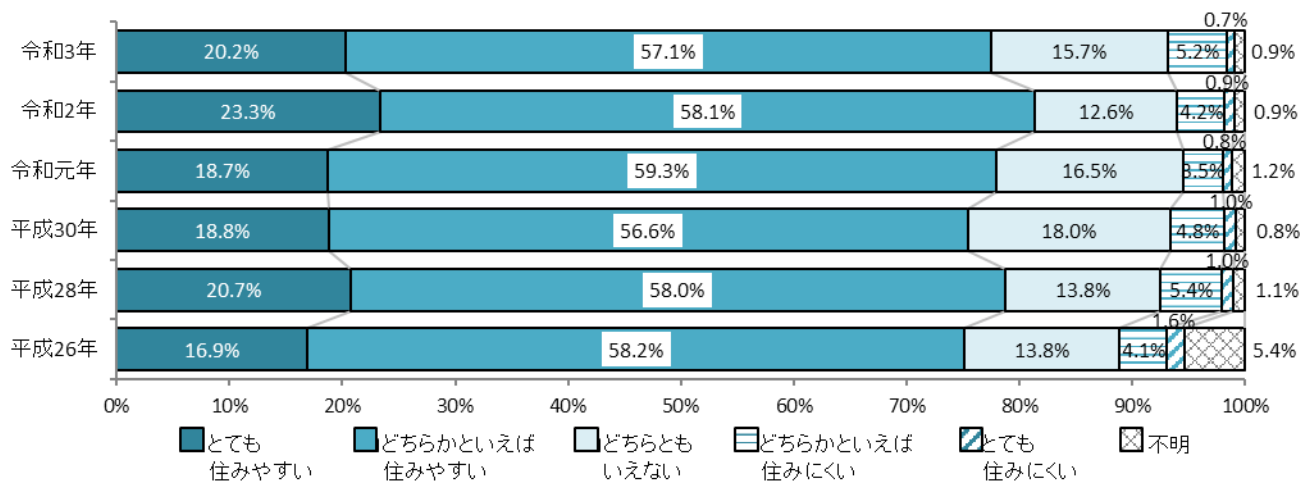
(注)「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として平均点を集計した。



▽「世界最高健康都市の構築」に向けて

佐久市の住みやすさ

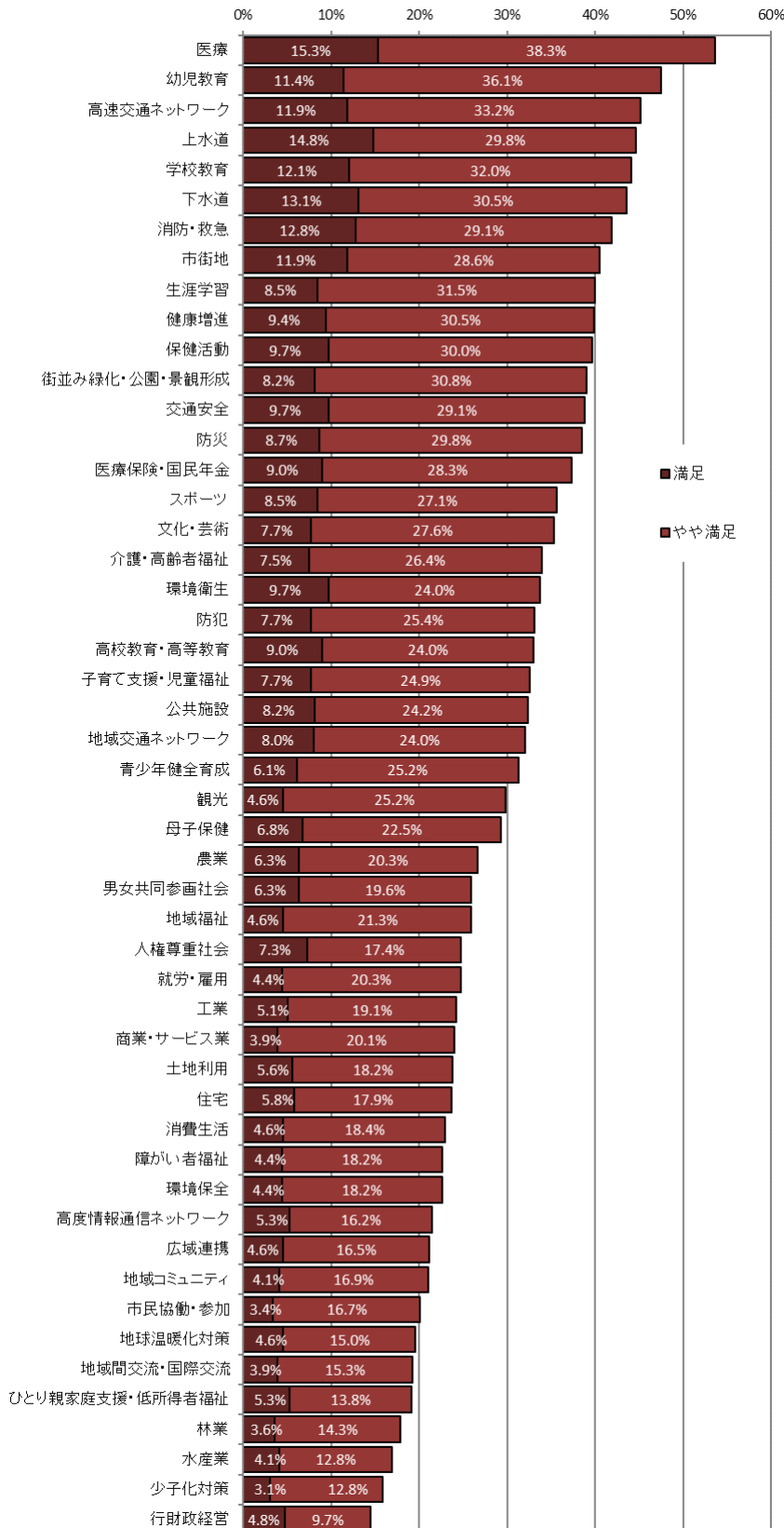
佐久市を「とても住みやすい」と答えたのは20.2%で、「どちらかといえば住みやすい」の57.1%と合わせると77.3%。「とても住みにくい」は0.7%、「どちらかといえば住みにくい」は5.2%で合わせて5.9%であった。



施策と住みやすさの相関

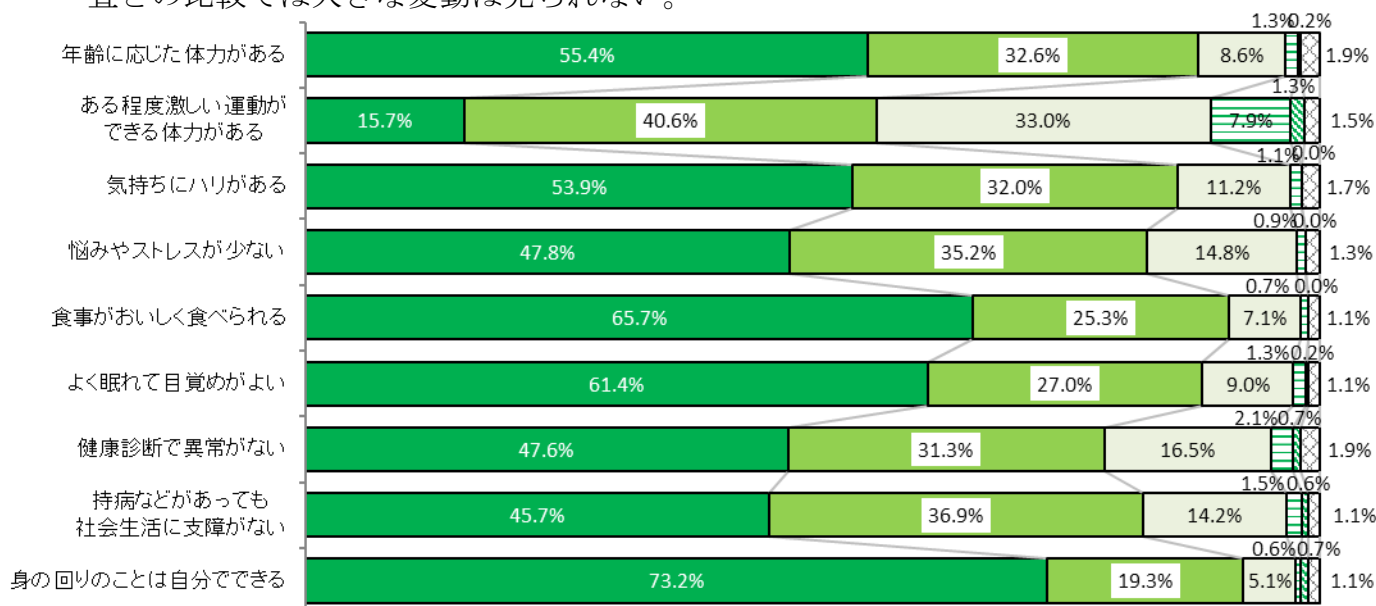
住みやすい（「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と答えた人の評価が高い施策

「満足」「やや満足」の回答率が高い順

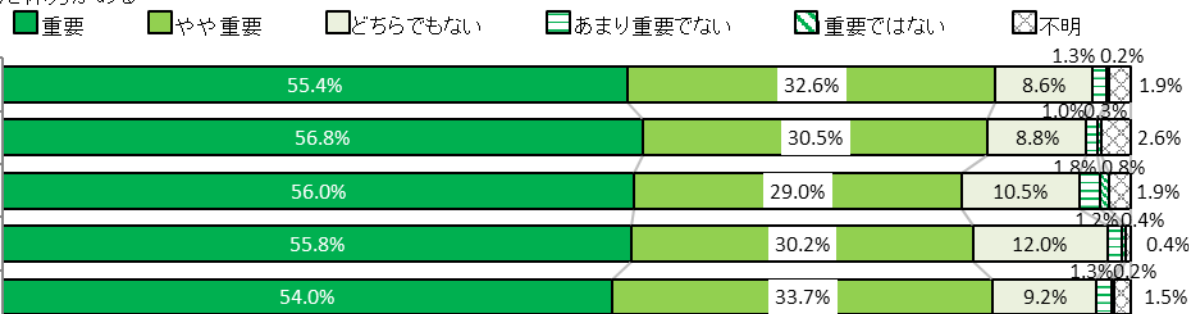


健康上重要だと思うこと

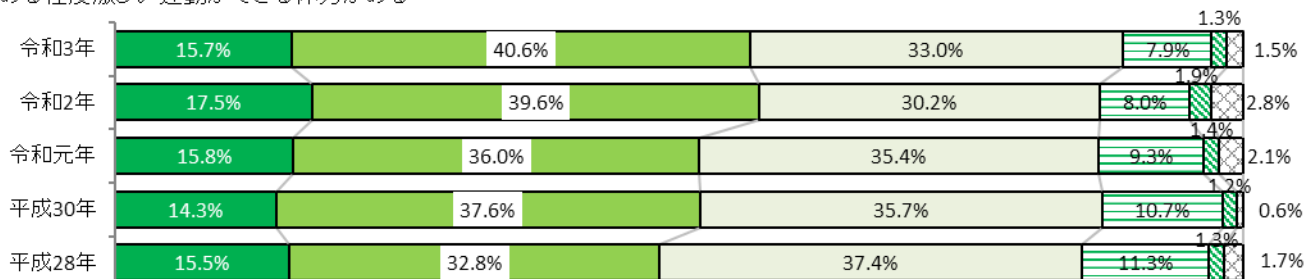
健康の状態をイメージするとき重要だと思うことは何か、9項目で尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「身の回りのことは自分でできる」の92.5%で、2番目は「食事がおいしく食べられる」の91.0%。以下「よく眠れて目覚めがよい」(88.4%)、「年齢に応じた体力がある」(88.0%)、「気持ちにハリがある」(85.9%)と続く。前回調査との比較では大きな変動は見られない。



①年齢に応じた体力がある



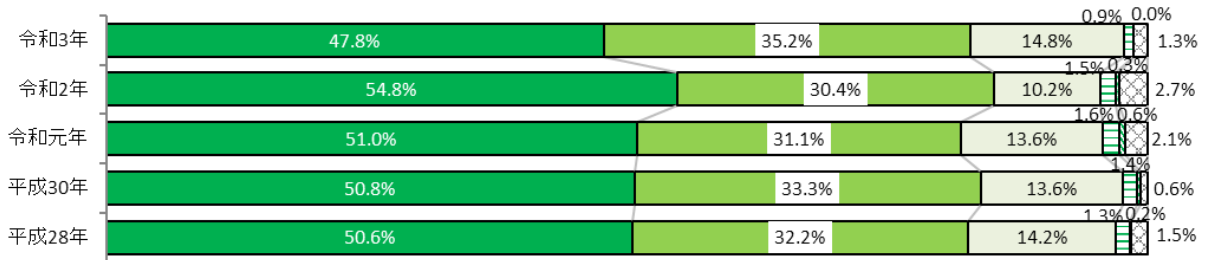
②ある程度激しい運動ができる体力がある



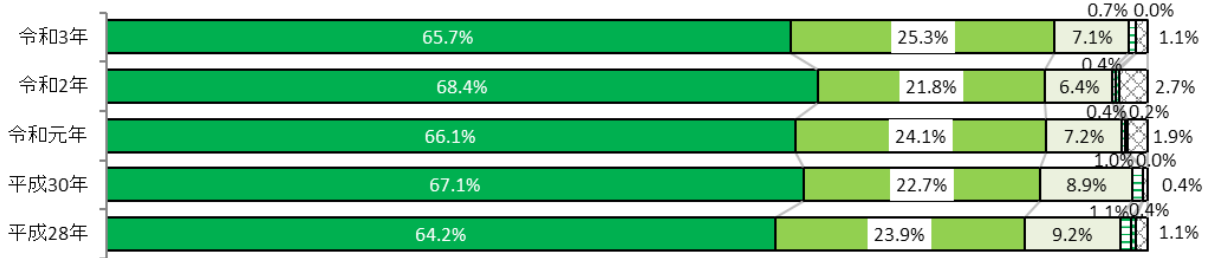
③気持ちにハリがある



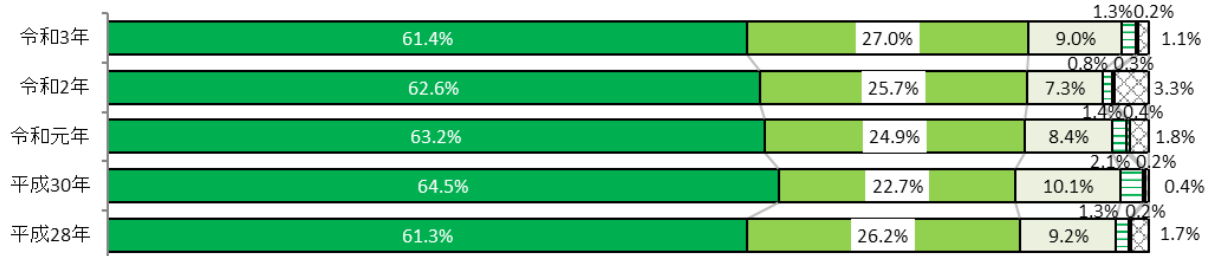
④ 悩みやストレスが少ない



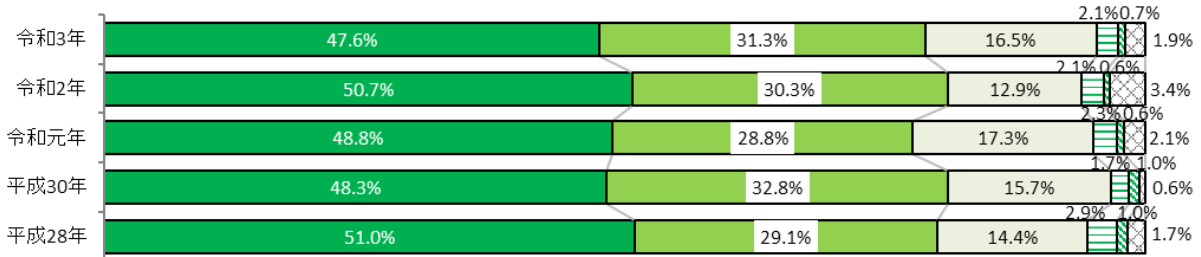
⑤ 食事がおいしく食べられる



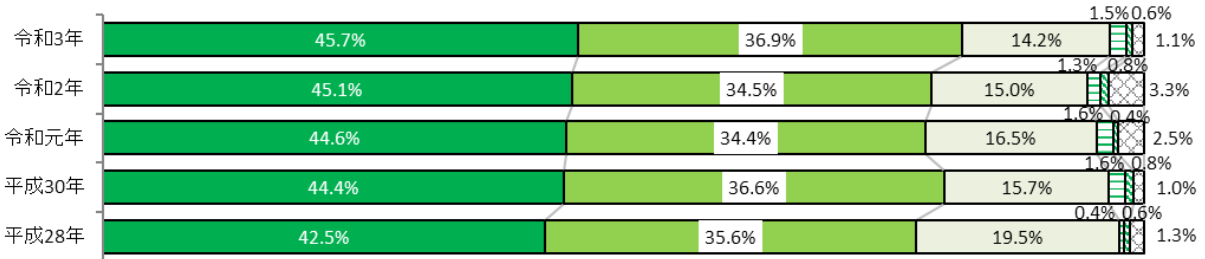
⑥ よく眠れて目覚めがよい



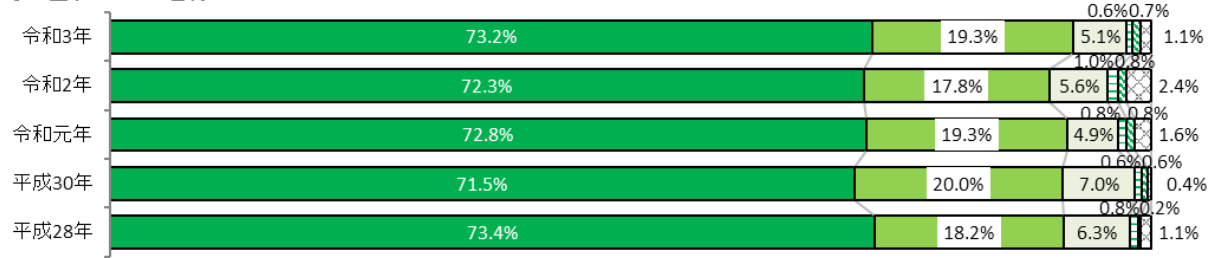
⑦ 健康診断で異常がない



⑧ 持病などがあっても社会生活に支障がない



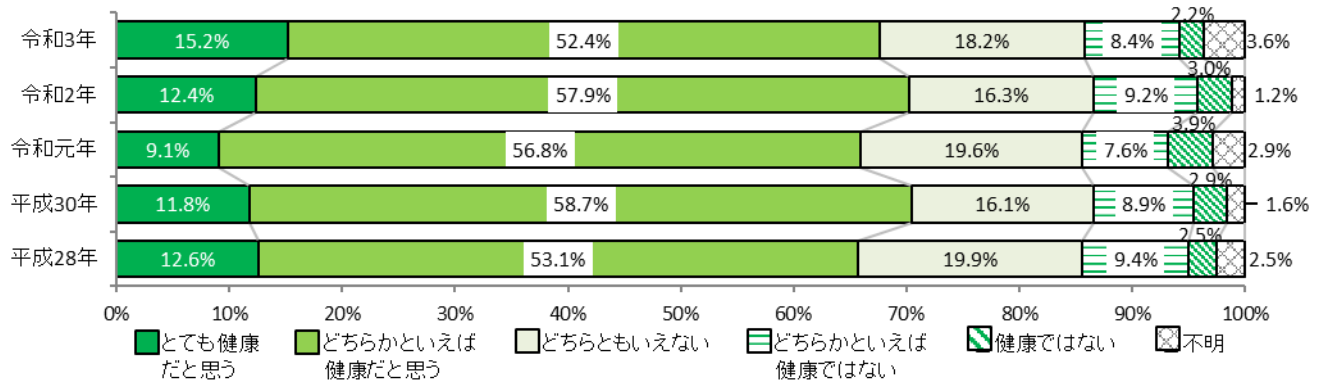
⑨ 身の回りのことは自分でできる



■重要 ■やや重要 □どちらでもない ■あまり重要でない ■重要ではない ■不明

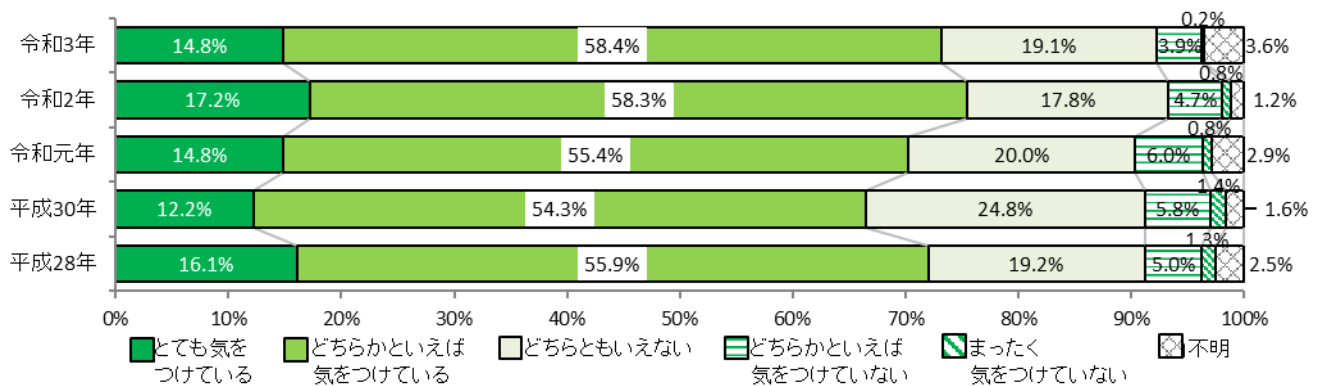
健康感

自分の健康についてどう思っているか尋ねた。「とても健康だと思う」は15.2%で「どちらかといえば健康だと思う」の52.4%と合わせて67.6%。前回調査から2.8ポイント減少した。



健康に気をつけているか

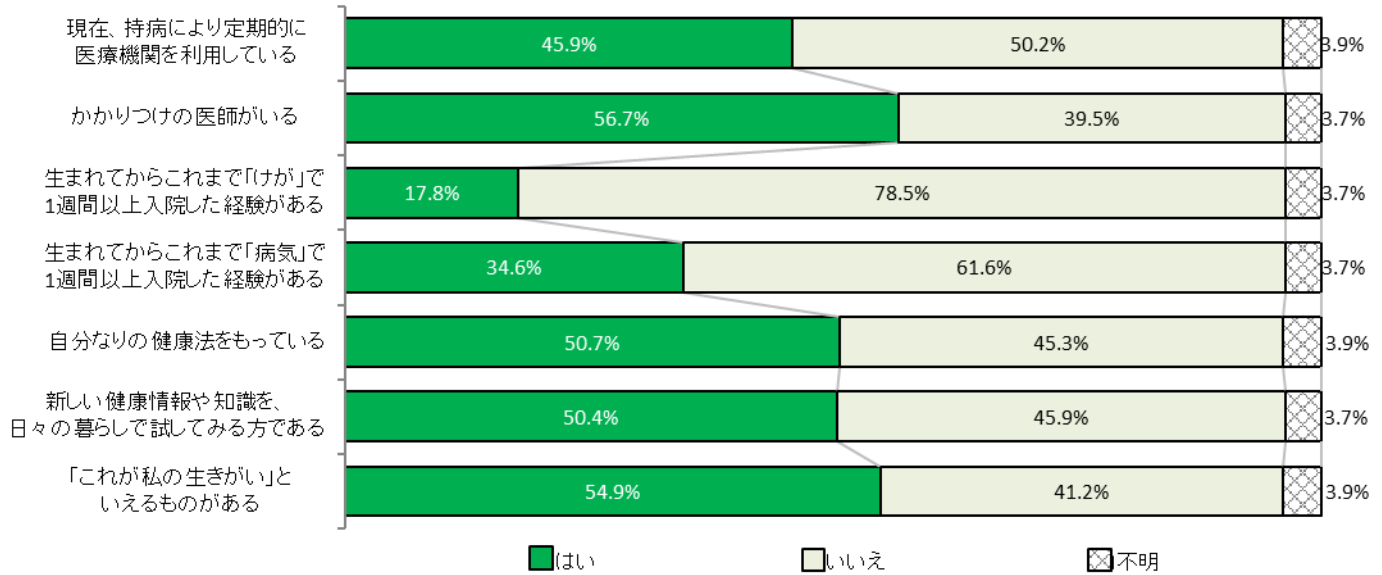
「とても気をつけている」と答えたのは14.8%で、「どちらかといえば気をつけている」の58.4%と合わせて73.2%。前回調査より2.3ポイント減少した。「まったく気をつけていない」は0.2%、「どちらかといえば気をつけていない」は3.9%。



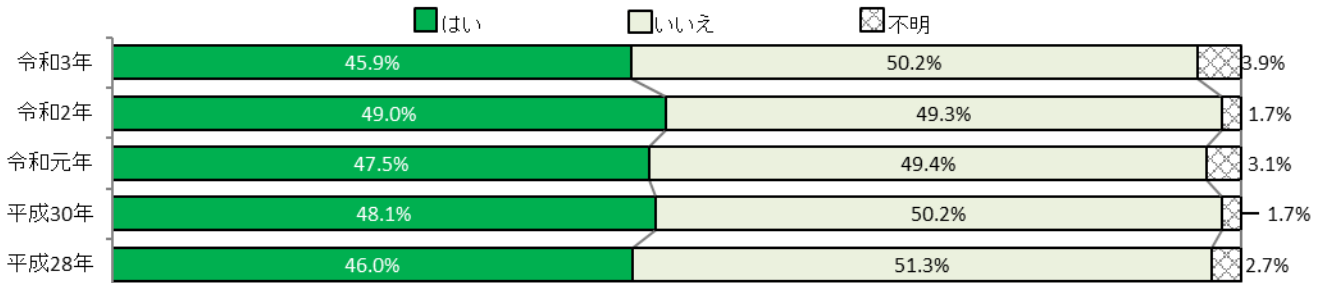
健康状態と意識

健康状態や意識について、7項目にわたり「はい」「いいえ」で聞いた。「はい」の最多は「かかりつけの医師がいる」の56.7%で、2番目は『「これが私の生きがい」といえるものがある」の54.9%。

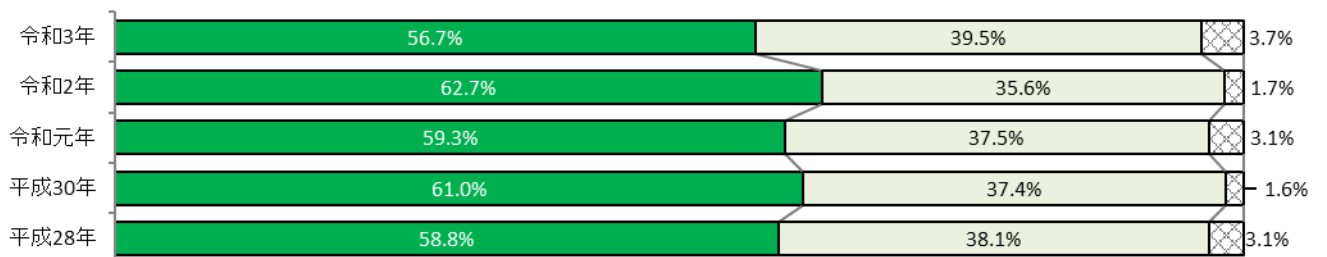
前回調査との比較では「自分なりの健康法をもっている」が1.9ポイント増加している。



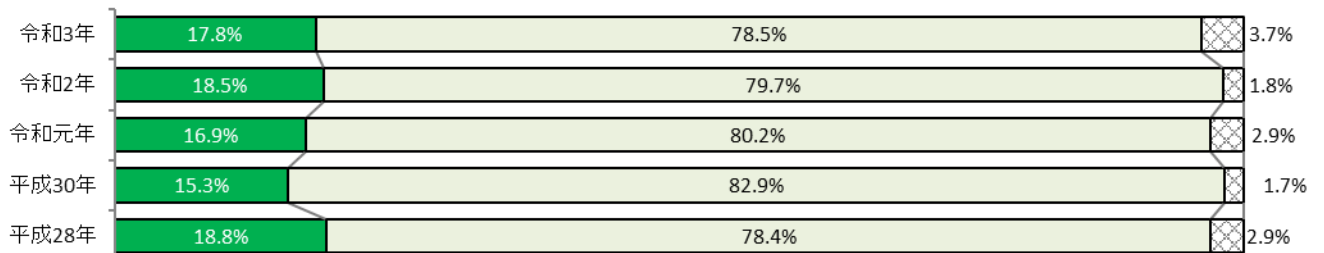
①現在、持病により定期的に医療機関を利用している



②かかりつけの医師がいる



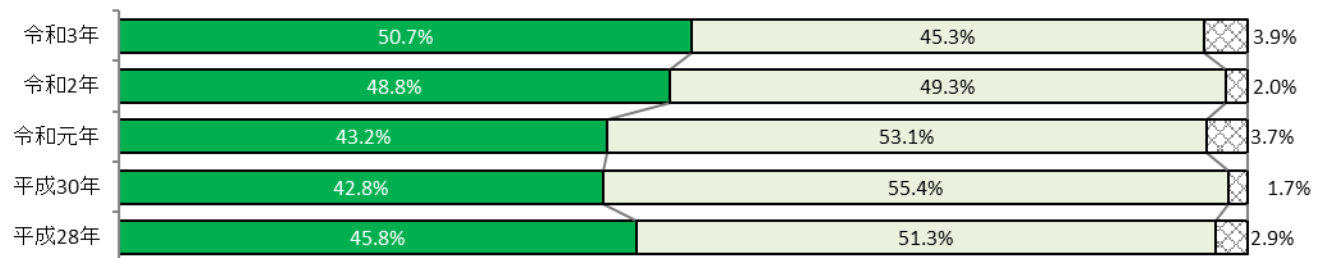
③生まれてからこれまで「けが」で1週間以上入院した経験がある



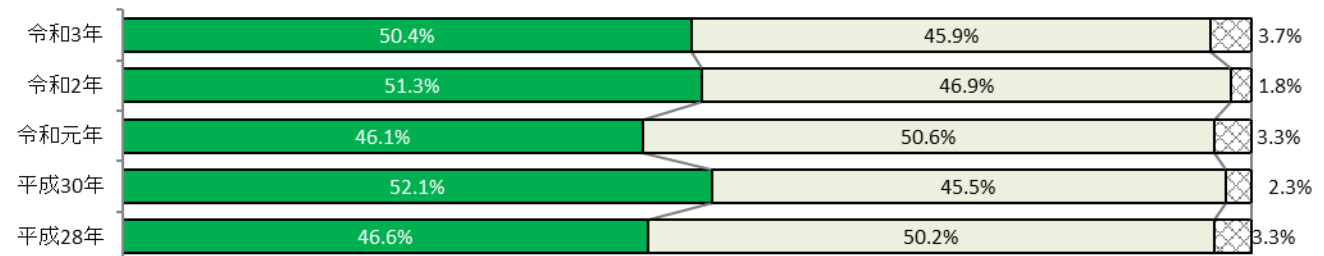
④生まれてからこれまで「病気」で1週間以上入院した経験がある



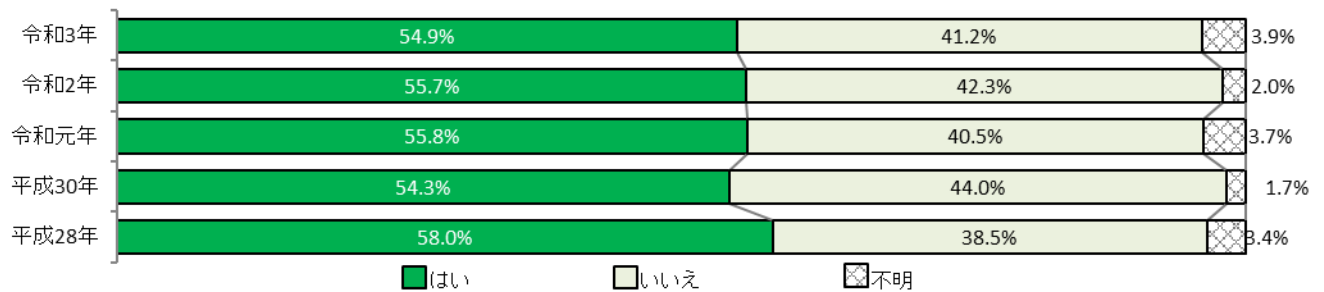
⑤自分なりの健康法をもっている



⑥新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみる方である



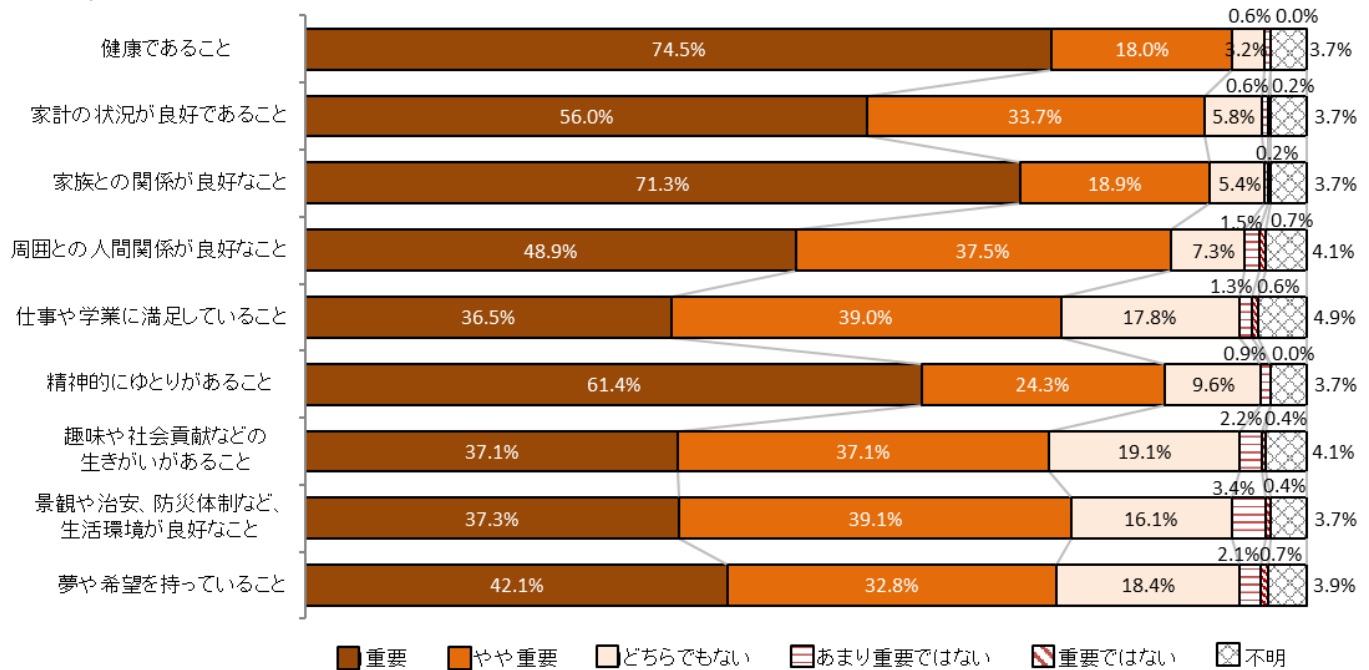
⑦「これが私の生きがい」といえるものがある



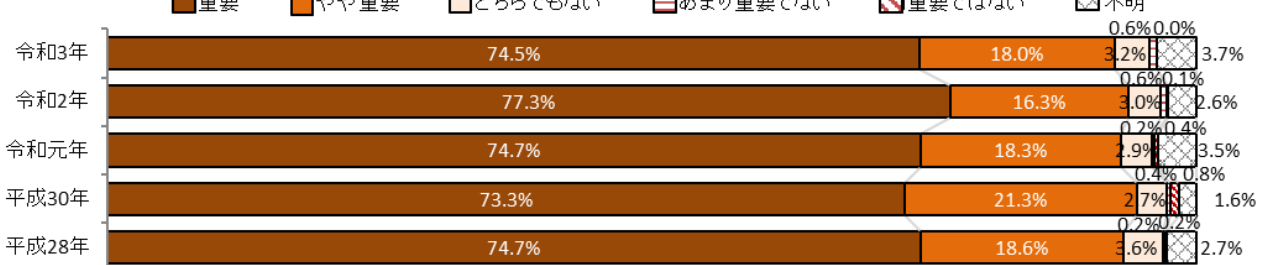
幸福感を判断するとき重要なこと

幸福感を判断するとき重要なこととは何か、9項目で尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「健康であること」の92.5%で、次いで「家族との関係が良好なこと」が90.2%、「家計の状況が良好であること」が89.7%であった。

前回調査と比べると、「周囲との人間関係が良好であること」が0.8ポイント増加している。



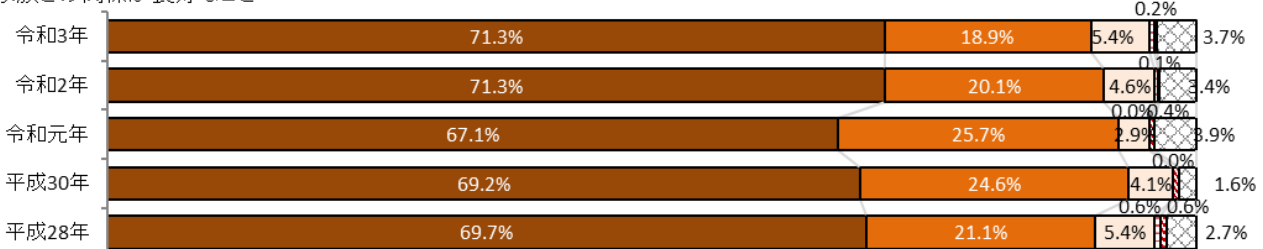
①健康であること



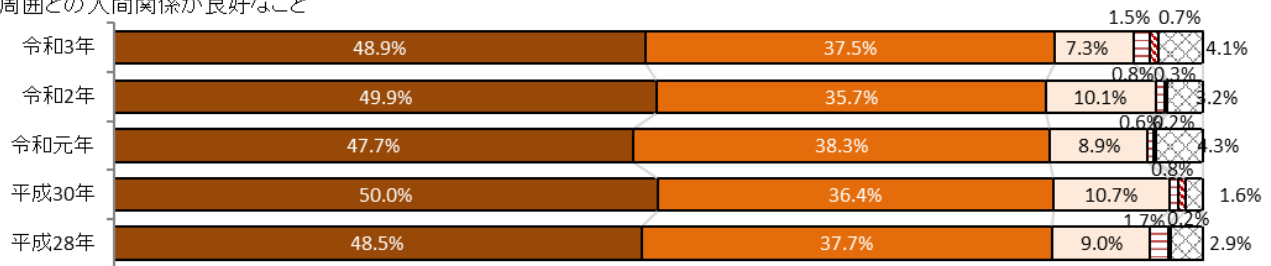
②家計の状況が良好であること



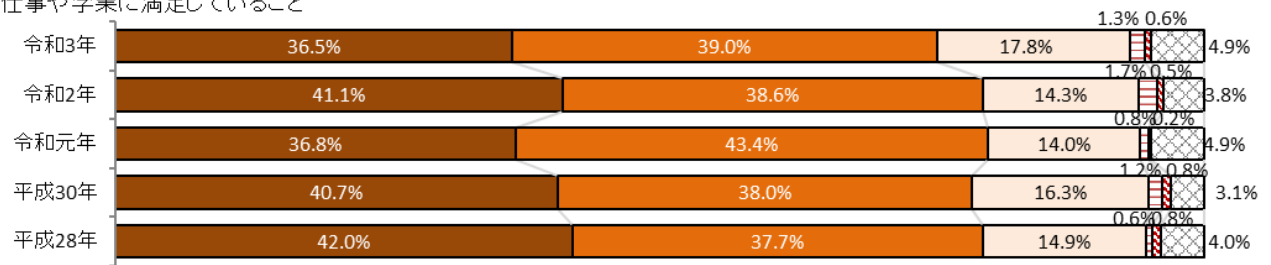
③家族との関係が良好なこと



④ 周囲との人間関係が良好なこと



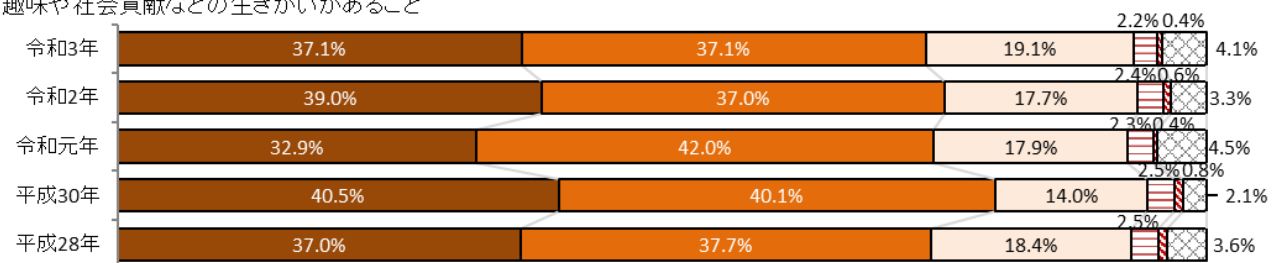
⑤ 仕事や学業に満足していること



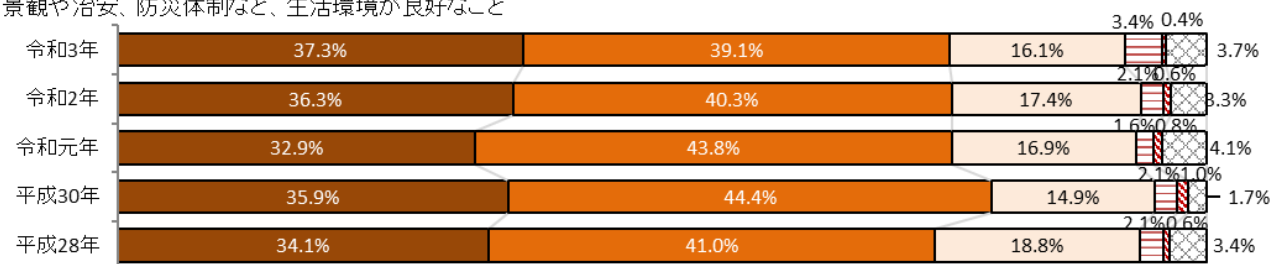
⑥ 精神的にゆとりがあること



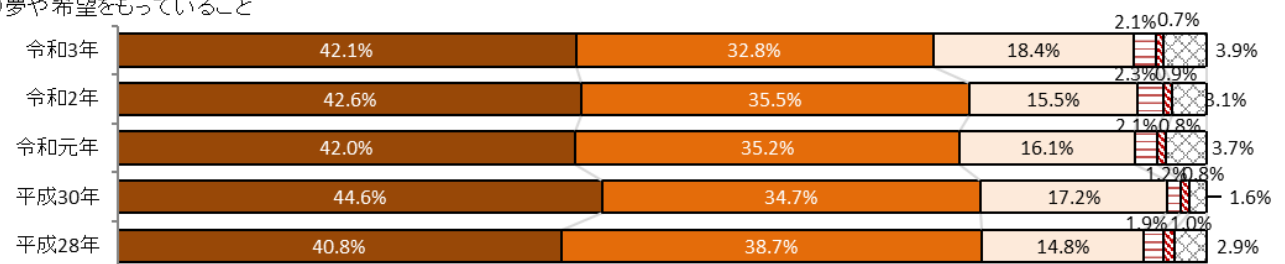
⑦ 趣味や社会貢献などの生きがいがあること



⑧ 景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと



⑨ 夢や希望を持っていること



■重要 ■やや重要 □どちらでもない ▨あまり重要でない ▩重要ではない ▩不明

幸福感

現在幸せだと思うか聞いたところ「大いに思う」は19.7%で、「思う」の52.2%と合わせて71.9%。前回調査より3.6ポイント低かった。「思わない」は0.6%、「あまり思わない」は5.1%。

